

豪雨	事務事業名	職員採用・昇任試験事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		02	—	01	—	01
			所属課名		人事課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応し、質の高い行政サービスを提供するため、資質を備えた人材を選抜することを目的として、職員採用試験を実施する。試験については、多様な人材を確保するため、前期日程(大卒程度)及び後期日程(短大卒程度及び高卒程度)のほか、民間企業等経験者対象、障がい者対象などの区分により実施する。 また、職員の能力や適性、業務実績等を的確に把握し、性別や年齢にとらわれず、係長職昇任候補者を選抜するため、係長職昇任資格試験を実施する。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
2,663		1,547		0	0	0	1,547	0	1,116
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞				
職員採用試験点字版作成料					43				
職員採用試験委託料					1,138				
係長職昇任資格試験委託料					346				
やつしろオシゴト探検フェア参加負担金					20				
今後の方向性 (該当欄を選択)									
1 不要(廃止)									

豪雨	事務事業名	職員研修事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		02	01	01		
			所属課名		人事課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
多角的・計画的に研修を実施し、職員の質的向上、意識改革を図り、より質の高い市民サービスを提供する。									
①【集合研修(階層別研修・特別研修)の実施】一定期間集中的に行う研修。一定の職務年数や昇任といった機会を捉えて開催。外部講師、内部講師又は熊本市市町村職員研修協議会主催による研修。									
②【派遣研修の実施】各関係機関や各種専門研修施設への派遣研修。									
③【自己啓発への環境づくり】各種支援制度の整備、通信教育の実施と助成。									
④【職場内研修の推進】「それぞれの職場で取組む研修」による意識啓発。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
8,926		7,359		0	0	1,113	6,246	0	1,567
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞			
階層別研修(14研修、延339名)						○その他特定財源			
研修委託(新採研修・2年目職員研修)						熊本市市町村振興協会市町村交付金			
負担金(一般消防教育研修(主任昇任者))						1,113			
特別研修(23研修、延2,816名)									
研修委託(7研修)						566			
動画購入(1研修)						19			
講師報償費・費用弁償(政策立案研修)						1,070			
等						260			
派遣研修(延154名)						238			
自治大学校・市町村アカデミー・その他研修施設等への派遣									
旅費						2,488			
負担金						2,101			
等									
自己啓発									
資格取得補助						15名 123			
通信教育負担金						30名 462			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		職員研修は、全ての能力開発の基礎であり、人材育成の中心となることから、職務上必要な知識等の習得はもちろんのこと、職員一人一人の潜在能力を引き出しつつ、組織力の向上につなげるため、多角的かつ計画的に実施している。 また、職員研修を受講することで、公務能力の向上が図られ、ひいては効率的で質の高い市民サービスの提供に繋がっているところである。 引き続き、職場や職員の意見等を踏まえながら、時代に即応した内容や更なる効果が得られるものとなるよう、効率的かつ一体的に職員研修を開催し、職員の意識改革・能力開発の一層の推進を図っていく。							

豪雨	事務事業名	国際理解と外国人支援事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		02	01	01				
			所属課名		国際課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)			
事務事業の概要											
市内小中学校での出前講座の実施等を通して日本人市民の国際理解や国際感覚の涵養を図る。また、市内に居住する様々な国・地域の外国人市民に対応できるよう多言語通訳システムを運用するほか、「やつしろ国際協会」と連携した活動やコミュニケーションツールである“やさしい日本語”の普及など、日本人市民・外国人市民が共に暮らしやすいまちづくりに取り組む。 1「異文化たいむ～世界のことを学ぼう～の実施」(市内の小中学校において、JICA海外協力隊経験者や国際交流員による講話、地域の外国人技能実習生との交流を行う。) 2「多言語通訳システムの運用、母国語交流員の配置」(多言語通訳システムの運用や母国語交流員の配置により、外国人市民が安心して相談できる体制を整える。) 3「日本語交流サポーターの育成」(日本語教室で学びを支援するボランティアの育成に取り組む。) 4「やさしい日本語講座の実施」(市職員を対象に「やさしい日本語講座」を実施し、多文化共生への理解促進や窓口対応力の強化を図る。また、「やつしろ国際協会」と連携し、市民を対象とした講座を開催するなど、“やさしい日本語”の普及に取り組む。)											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額		不用額		
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
1,755		1,669		787		0		0		882	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞							
【出前講座「異文化たいむ」】 講師謝礼、旅費 【外国人市民相談体制強化】 多言語通訳システム運用経費 母国語交流員配置 【市職員対象「やさしい日本語講座」】 講師謝礼、旅費 【国際交流ボランティア養成講座】 会場使用料、講師謝礼、旅費				50 1,280 294 27 18				○国庫支出金 外国人受入環境整備交付金(1/2) <			

豪雨		事務事業名		北海市交流事業		会計区分		一般会計	
						款項目コード(款-項-目)		02 — 01 — 01	
						所属課名		国際課	
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									
(単位:千円)									
事務事業の概要									
市内の高校生で構成する「八代市青少年友好派遣団」を友好都市である中国北海市がある広西壮族自治区へ派遣し、現地の子どもたちとの交流によって、本市の未来を担う子どもたちの国際感覚を養うとともに、両市の友好関係を深化させる。また、令和8年度の友好都市協定締結30周年に向けて北海市を訪問し、事務協議を行う。									
1 「八代市青少年友好派遣団」の広西壮族自治区派遣									
2 八代市行政訪問団の派遣									
3 友好都市パネル展の開催(友好都市の概要や交流のあゆみを写真等で紹介するパネル展を開催する。)									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源	
						一般財源			
1,391		1,014		0		0		80	
								934	
								0	
								377	
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞				
【八代市青少年友好派遣団】※派遣事業※					○その他特定財源				
記念品代					25				
ビザ申請代行手数料					155				
バス借上料、Wi-fi使用料					262				
【北海市との事務協議】※派遣事業※									
記念品代					18				
普通旅費					541				
【広西壮族自治区訪問団来代】※受入事業※									
記念品代					5				
食糧費					8				

豪雨	事務事業名	台湾基隆市友好交流事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	02	—	01	—	01
			所属課名	国際課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)							(単位:千円)	
事務事業の概要								
平成30年4月に台湾基隆市と締結した友好交流協定に基づき、産業、経済、スポーツ、文化、観光、教育等の分野での交流を促進することで、両市の友好関係を深め、相互の発展に寄与する。								
1 八代市行政訪問団の基隆市派遣(友好関係をさらに深めるため、基隆市を訪問し交流の充実に向けた協議を行う。)								
2 基隆中元祭への参加(文化交流の一環として、基隆市で開催される中元祭に参加する。)								
3 友好都市パネル展の開催(友好都市の概要や交流のあゆみを写真等で紹介するパネル展を開催する。)								
令和6年度予算額		令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額
			国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
1,453		1,298	0	0	0	1,298	0	155
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞			
【基隆市との事務協議】								
記念品代					28			
普通旅費					692			
【基隆中元祭参加等】								
記念品代					13			
普通旅費					534			
等								
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)						

豪雨	事務事業名	国際交流推進事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		02	—	01	—	01
			所属課名		国際課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
国際交流員による市民向け講座やオンラインを活用した情報発信等を通して、多文化共生の推進や国際理解の促進に取り組む。また、本市の多文化共生をはじめとする国際化の推進役として、やつしろ国際協会の活動の充実を図る。									
1 台湾との新たな交流の検討(交流の実現に向けて候補となる都市を訪問し、具体的な内容等に関する意見交換を行う。)									
2 国際交流員の配置(通訳・翻訳業務や市民向け講座の実施、オンラインを活用した情報発信等に取り組む。)									
3 やつしろ国際協会による取り組み(本市の多文化共生をはじめとする国際化の推進役として、活動の充実・活性化に取り組む。)									
4 講座の実施(料理教室や出前講座等を実施し、市民の国際理解の促進に取り組む。)									
5 領事館等との交流(海外との交流など本市の取組を後押ししてもらえるよう、良好な関係を構築する。)									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
10, 123		8, 828		0	0	410	8, 418	0	1, 295
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞				
【新竹市等との交流】					○その他特定財源				
記念品代					国際交流員有料宿舍使用料				
普通旅費					410				
食糧費									
【国際交流員配置】									
報酬、社会保険料、雇用保険料等									
普通旅費									
住宅借上料									
自治体国際化協会事業負担金、研修負担金									
【やつしろ国際協会】									
会費									
【領事館等との交流】									
記念品代									
普通旅費									
等									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		新たに台湾・新竹市と友好交流協定を締結したことから、今後は協定内容に基づき様々な分野での更なる交流の充実を図り、友好関係を深める。また、国際交流員の配置によって、出前講座やイベントの開催、情報発信など、活動の幅が広がり、市民に異文化に触れ・理解を深めてもらう機会の多様化につながったと考える。今後も国際交流員の活動を通じた国際理解や異文化理解の促進に取り組む。さらに、「やつしろ国際協会」では設立から現在まで会員数が増加しているものの(R5:130、R6:143、R7:153)、更なる会員獲得に取り組み、活動の充実を図るとともに、市民や企業・行政等が一体となり、多文化共生を推進する体制づくりを進める。最後に、各国領事館との交流については、引き続き関係を密にしながら、各国の経済社会情勢等の把握に務める。							

豪 豪	事務事業名	令和2年7月豪雨災害追悼式関連事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		02	—	01	—	01
			所属課名		秘書広報課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
【一般献花】本庁1階ロビー、坂本コミュニティセンター 令和2年7月豪雨災害で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、広く八代市民が豪雨災害を記憶にとどめ、後世に伝えていく契機とするため、一般献花を実施する。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
251		217		108	0	0	109	0	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞					
【豪雨災害分】				【豪雨災害分】					
一般献花用花購入				○県支出金					
その他消耗品等				豪雨被災者等支援交付金					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)							

豪雨	事務事業名	令和6年能登半島地震支援事業（職員派遣）	会計区分		一般会計			
			款項目コード（款-項-目）		02	—	01 — 01	
			所属課名		人事課			
主要な施策の成果（決算審査における主要施策）（単位:千円）								
事務事業の概要								
令和6年能登半島地震の被災自治体における応急対策に従事させるため、本市職員を派遣する。								
【派遣先、従事業務及び派遣人数】								
・石川県輪島市 住家被害認定調査業務 22人（R5:14人、R6:8人）								
・石川県珠洲市 公費解体支援業務 5人								
令和6年度予算額		令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額
			国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
5,391		5,065	0	0	0	5,065	0	326
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞			
【現年分】2,505								
時間外勤務手当					1,278			
職員派遣旅費					1,143			
公用車ガソリン代					80			
公用車修理代					3			
駐車場使用料					1			
【繰越分】2,560								
職員派遣旅費					2,560			
今後の方向性 （該当欄を選択）		1 不要（廃止） 4 市による実施（規模縮小） ● 2 完了（終了） 5 市による実施（現行どおり） 3 民間実施 6 市による実施（規模拡充）						
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		令和6年度においては、令和6年能登半島地震の被災自治体からの応援要請に基づき、応急対策に係る支援を行った。 今後、復旧・復興に向けて被災自治体からの応援要請があった場合は、本市における災害復興等の人員を確保した上で、職員派遣を検討する。						

豪雨		事務事業名		広報広聴活動事業		会計区分		一般会計			
						款項目コード(款-項-目)		02	01	02	
						所属課名		秘書広報課			
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)											
(単位:千円)											
事務事業の概要											
広報業務では、「広報やつしろ」を毎月発行(年12回、各49,800部)し、市政協力員を通じて各世帯へ配布するとともに、市ホームページ、各種SNS等を活用して、市の情報を発信する。なお、市ホームページについては、令和6年10月に全面リニューアルを行い、検索機能の向上やスマートフォンへの対応改善等を行った。 広聴業務では、「市長への手紙」、「まちづくり出前講座」、「市政懇談会」等を実施するほか、3年おきに「中学生議会」を開催している。											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源		一般財源			
57,060		55,953		0	0	6,600		49,353		0	1,107
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞					
広報やつしろ印刷製本費						48,316	○その他特定財源				
市ホームページ リニューアル業務委託						6,050	広報紙広告料収入				5,940
市ホームページ システム保守等業務委託						1,035	市HPバナー広告掲載料				660
等											
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)									
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		広報業務では広報紙や市公式ホームページにおけるアンケート結果を踏まえた内容充実及びシステム改善などに取り組むとともに、広聴業務である「市長への手紙」や「まちづくり出前講座」などを通して、市民の市政への理解を深め、市民参画のまちづくりを推進する。加えて、令和7年度には中学生議会を実施し、子どもたちの市政に対する意見や提案などを聞き、今後の市政運営の参考にするなど、広報広聴活動の更なる充実を図る。									